

北海道女子ゴルフ倶楽部対抗 羊ヶ丘初V

昨年10位チームワークと粘りで
海越女子倶楽部対抗戦



北海道女子ゴルフ倶楽部対抗戦
羊ヶ丘初優勝
昨午10位の羊ヶ丘がチームワークと粘りのゴルフでトータル407をマークし初優勝を飾った。午前スタートの松谷美穂(53)がチーム最高スコアで引く強者と、午後スタートの竹アサ子(52)が引いて回り、優勝に貢献した。昨年17位の北海道が1打差2位の位置に躍進。3位はシャトレ1せ石(52)が入った。ベストスコア賞はAグループが井川仁美(38)シャトレ1せ石(52)と早坂美和(44)空知(45)がそれぞれ獲得した。

6人全員会社員ながら合同練習5度「これからエンドレスのパーティーです」中川主将

札幌北広島1位

◆Aグループ

| | | |
|------|-----|----|
| クラブ | スコア | 順位 |
| 井川仁美 | 42 | 1 |
| 早坂美和 | 43 | 2 |
| 空知知子 | 44 | 3 |
| 中川主将 | 45 | 4 |
| 高橋美穂 | 46 | 5 |
| 山本由美 | 47 | 6 |
| 石川美穂 | 48 | 7 |
| 松谷美穂 | 49 | 8 |
| 竹アサ子 | 50 | 9 |
| 山本由美 | 51 | 10 |

◆Bグループ

| | | |
|------|-----|----|
| クラブ | スコア | 順位 |
| 高橋美穂 | 43 | 1 |
| 山本由美 | 44 | 2 |
| 石川美穂 | 45 | 3 |
| 松谷美穂 | 46 | 4 |
| 竹アサ子 | 47 | 5 |
| 山本由美 | 48 | 6 |
| 石川美穂 | 49 | 7 |
| 松谷美穂 | 50 | 8 |
| 竹アサ子 | 51 | 9 |
| 山本由美 | 52 | 10 |

◆Aグループで75のベストスコア賞を獲得した井川 今日日はコースとの相性もよく、パターがよかった。ベストスコアは2度目だが、すごくうれしい。それでもチームの役に立てたのが一番うれしいですね。

◆Aグループで75のベストスコア賞を獲得した早坂 アプローチもパターも自然体でできた。チームに貢献しようと思って練習した結果、努力はうそをつかないですね。今度はチーム全員で表彰台に上がります。

◆Bグループで75のベストスコア賞を獲得した高橋 ショットも安定していたし、パターもよかったです。久しぶりにこういう賞がとれました。でも次はチームでAグループの優勝を目指します。

感謝のスピーチ
チームの目標は「優勝」の二字。前半の主将は77で回った難答だ。思いっきり行こうとピンを攻めた。そのかいあって前半の8番で170ヤードをエントリーして、このオンに成功。2パットのパーを奪った。「これでリズムがよくなった」と振り返った。

後半を引っ張ったのは引をマークした竹ケ原。午前最後の首位争いはまったく知らないままスタート。練習ラウンドでは前と不調だったが手応えを感じていた。好スコアの理由を聞かれると「チームのみなさんの応援が助かっていた」と、心金のゴルフに笑みがこぼれた。

勝利の原動力はチームワーク。メンバーは全員が会社員。そのため練習を合わせるのが難しかったが、合同練習を重ねてきた。アドバイザーをしい結果を挙げた。中川主将は「女子の選手会にはお礼が、みんな仲がいい」という。報道陣の記念撮影が終わると「これからエンドレスのパーティーです」。中川主将を筆頭に、仲良く選手が練習に励む快報も伝えている。

自派を送り出す
大優勝を前にしたのは羊ヶ丘だった。前半終了時点で羊ヶ丘とクラークが240の同スコアで首位に並んだ。1打差で奮闘内と北海道が追う展開。各クラブでも優勝の行方は後半の3人に託された。必勝を願う中川主将(54)は「選手には何もアドバイスしませんでした」と、プレッシャーにならないよう、自然体で送り出した。4時間後の表彰式の優勝スピーチで、中川主将が涙で目を赤く染めた。一同がどうもありがとうございました。みなさん、ありがとうございました。優勝目指して今日まで来ました。やっとなんか喜んでいいですね。明日からまた練習をして、来年の倶楽部対抗を頑張りたいです。」

フイリフイリ the SUN premium 丼

TEL 011-632-1009

17位→大躍進
昨年17位でぎりぎりAグループに残ったチームが、一気に2位に躍進した。トータル77の好スコアで貢献した松谷和代(48)は「昨年は前の皮1枚で強かったので、まさかここまで来るとは思わなかった」と喜んだ。好成績の予備はあった。支那正妻主将(63)は「みんな練習ラウンドが調子よくて、優勝もいけるかなと。得意コースでもあったのですが、本番はなかなかうまくいかないですね」と悔しがった。それでも優勝した羊ヶ丘に3打差に迫り、「納得のいく結果。来年はもっと上を」と頂点を目指す。

上位返り咲き
優勝に4打差の3位に食い込んだ。本来は上位の常連だったが、昨年はトップに13打差の7位と不意な結果に終わった。トータル75でベストスコア賞の井川を中心に、最後まで優勝争いを展開した。「今日はみんな元気に頑張ろう」という気持でプレーした。昨年の成績を考えたら、上位に入れたことだけで満足」と立野麻子主将(59)。試合以外でメンバーが顔を合わせることがほとんどないが全員がそれぞれの役目を全う。若手の高林果実(27)「来年は優勝を目指します」と誓った。

層の厚さ健在
王者奪還はならなかった。第1回から8連覇を達成したが、昨年は2位に敗れ覇座を退けていた。高橋主将(61)は「五輪の年には優勝したり、縁があると思ってた。今回もと思ったが、悪い道になりたが、姉妹チームの羊ヶ丘が初優勝した。この優勝も格別。自分のことのようにうれしい」と刺激にもなった。選手層の厚さは健在で「補欠選手も力をつけている。来年は私たちが優勝したい」。かつての王者が再び頂点へ動き出した。

高木主将反省
5位クラーク トータルスコア413で、昨年の13位から一気に飛躍した。今年の目標は「全員が40で回る」とチームを鼓舞していた高木直美主将(80)は「400だったから優勝狙える」と話していたが、結果は13打多かった。自身のスコアは52で「私が足を引っ張った。一から練習をし直す」と肩を落としていた。

GOLF FOOT

オーダーメイドインソールでスイングが安定して飛距離アップ!

TEL 0120-315-210

私たちは北海道のアマチュアゴルファーを応援します

| | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|---|--|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| <p>大浦隆司</p> <p>代表 大和リゾート札幌 ロイヤル札幌 代表 支那人</p> | <p>高江一王</p> <p>代表 ザサンタグループ</p> | <p>斉藤孝行</p> <p>代表 エアル・ファースト 代表 取締役社長</p> | <p>PGA 北海道プロゴルフ会 会長 白石 範隆 副会長 井川 由真 副会長 乙坂 孝一 副会長 片倉 修 副会長 後藤 満吉 事務局長 上本 謙史</p> | <p>吉野次郎</p> <p>北海道ゴルフ連盟 会長</p> | <p>北海道ブルックス カントリークラブ</p> <p>会長 高橋 成司 副会長 高木 泰成 副会長 安積 孝三 副会長 石岡 利昭 副会長 高木 直美 事務局長 中田 房雄</p> | <p>札幌ベイ ゴルフ倶楽部</p> | <p>小樽 カントリー倶楽部</p> | <p>札幌国際 カントリークラブ</p> | <p>札幌ゴルフ倶楽部</p> |
|---|---------------------------------------|---|---|---|--|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|------------------------|